

【河川】「第4回 阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会」開催！

平成30年5月30日
福島河川国道

1. 概要

- 阿武隈川上流で発生しうる大規模な浸水被害に備え、隣接する自治体や県、国が連携して、減災のための取組を共有し、取組を推進するため、5月30日に「**第4回 阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会**」を開催しました。
- 昨年の6月に「水防法の一部を改正する法律」施行された事をうけ、本会議より**水防法に基づく法定協議会**に移行いたしました。
- また、「**阿武隈川上流の減災に係る取組方針**」を改定し、危機管理型水位計設置等2項目を新たに取組方針として位置づけ、実施することとなりました。
- また、来年の「**阿武隈川改修100年事業**」に向け、本協議会も主な主催者として各種イベントを実施して行くこととなりました。

2. 日時／実施状況

- 日 時：平成30年5月30日(水)
- 場 所：福島テルサ 3階 大会議室あぶくま
- 出席者：伊達市、国見町、桑折町、福島市、二本松市、大玉村、本宮市、郡山市、須賀川市、玉川村、福島地方气象台、福島県(土木部・危機管理部)、三春ダム、摺上川ダム、福島河川国道事務所 **関係機関約50名が参加**

議事内容

- ・(1)幹事会の報告
- ・(2)法定協議会化について
- ・(3)取組方針の改定
- ・(4)各機関の対策実施状況のフォローアップ
- ・(5)平成30年度出水期に向けての確認事項
- ・(6)阿武隈川改修100年事業について



3. 主な意見・コメント等

【木幡浩 福島市長】

郡山市を参考に、昨年度末に詳細版タイムラインを策定した。今後は訓練や実運用を経て、より実効性の高いものにして行く。また、昨年10月の台風21号の際、福島河川国道事務所長からの3回のホットラインが、避難勧告等の判断に非常に役に立った。提携している銀行の店内ディスプレイで、緊急速報メールを活用したプッシュ型配信の周知を行っている。

【品川万里 郡山市長】

当市では100mm安心プランなど多くの対策を講じているが、想定を超える水害が起こった際の対応が課題。狭窄部の解消が悲願でもあり、砂州の発達状況の把握も含めて国交省にお願いしたい。阿武隈川100年事業は、マスコミ等の協力を得ながら進めてはいかかか。

【押山利一 大玉村長】

村を縦断する3本の一級河川の河床が上昇傾向。順次の堆積土砂の掘削により溢水する可能性のある箇所は解消されつつある。引き続き対応いただきたい。

【その他コメント】

- ・ 自主防災組織の設立・訓練等に対して交付金による支援を実施。(本宮市・二本松市)
- ・ 総合防災訓練で防災マップを活用した市民参加型避難訓練を計画中。(伊達市)
- ・ 県で公表中の河川流域総合情報システムは新たにスマホ専用ページを作成。(福島県)

【福島河川国道事務所長】

郡山市のタイムライン(詳細版)は、昨年10月の台風21号の実運用では非常に有効だったと伺った。同じ流域内で良いお手本があるのは幸運なこと。郡山市・福島市に続いて他の自治体でも詳細版を作成して頂きたい。



福島市長



郡山市長



大玉村長



伊達市長



国見町長



桑折町長



本宮市長



二本松市長



須賀川市長



玉川村長